



連載特集

秋田デステイネーション

キャンペーンに向けて⑤



問い合わせ

観光課観光振興係

☎ 43-7072

大館市を訪れたかたが市内を観光するための移動手段として、バスは欠かせない乗り物の一つですよ。

10月から始まる秋田デステイネーションキャンペーン(DC)連載企画第5回目は、秋北バス株式会社 副部長 棚谷貞一さんにお話を伺いました。



秋田県マスコット スギッチ

バスを使った観光の現状についてお聞かせください。

近年、旅行の形態は団体型から個人型へシフトしていますが、最大のマーケットである首都圏からのお客様が東北へ観光に来る場合、到着してから移動が不便だったり、マイカーで訪れるには遠距離のため、ツアーバスをご利用されるかたも多くいらっしゃいます。

そんな中、当社では、ツアーバスの運行はもちろん、個人旅行で大館に越しのかたでも気軽に市内観光ができる取り組みとして、路線バスを活用した「バス&ウオーク」を始めています。



秋北バス株式会社 棚谷貞一副部長

「バス&ウオーク」と今後計画している事業等について教えてください。

「バス&ウオーク」は、モデルコースや観光情報を掲載したマップを手に路線バスとウオーキングで地域を旅していただくもので、公共交通機関の利用による環境負荷軽減とウオーキングでの健康増進、そしてバス利用者増による生活路線維持につなげようというものです。この企画は国の機関や同業他社からも注目を集め、今年6月に東北運輸局長特別功労賞を受賞しました。当社は「環境をテーマとした商品の

開発」コミュニティへの参画等に入れられており、料金の一部をCO2削減活動に投資するカーボンオフセットを組み込んだエコロジー回数券を発売しています。更に二井田・真中地区を運行するコミュニティバス「さわやかみなみ号」へBDF燃料を使用するなどCO2削減へ取り組んでいます。

「秋田DCで実施した「ぐるっとハチ公号」について教えてください。

ワンコイン500円で市内の見どころ4カ所を案内人が添乗し3時間程掛けて巡る企画でしたが、意外にも、市内のかたの利用比率が高かったです。お客様を迎えるに当たり、地元のかた自身が地域の良さを知ることがとても大切だと思います。今年度も「ぐるっとハチ公号」を10、11月の土・日・祝日(きりたんぼまつり期間を除く)に運行する予定で、既に首都圏の旅行会社社に宣伝活動を行っており、秋田DCに向けての手応えを感じています。

秋田DCに向けての意気込みをお聞かせください。

DCだから、何もしなくてもお客様がやってくるといっては間違いで、

DC期間中だから大勢のお客様にお越しいただくというのも本来の目的から外れていると思います。DC終了後も継続してお客様が訪れる仕組み作りが大事だと考えています。そのために、宿泊・観光施設等とのネットワークの強化に加え、市とも協力体制をとりながら「ぐるっとハチ公号」の運行、宣伝に万全を期すとともに、「バス&ウオーク」事業の更なる推進を図ります。

おもてなしコラム⑤

「路線バス」で大館の魅力を再発見しましょう。

普段は自家用車の人も、たまにはバスで市内巡りをしてみませんか？バスの車窓からの景色をゆっくりと楽しみ、気に入った場所を散策したり温泉に入ったたりすれば、普段気付かなかった大館の良さを発見できるかもしれません。

観光にお越しのかたに大館の魅力を聞かれたら、そんなとおきの場所をお話ししてください。きっと喜んでくれますよ。